

Heap up!

Report
Vol.2
2026.1.26

制度と制度の「はざま」となって必要な支援が受けられない…

家の中の色々な問題を、一緒に考えてくれる人がいない…

そんな困りごとと向き合い、誰もが住みたいまちにするために、行政や福祉分野の関係者、様々な社会・経済活動、そして生駒市民が協創し、今あるあらゆる資源を「かさね」ること。それが、かさねるいこま(生駒市重層的支援体制整備事業)です。

かさねるいこまのR6年度の実績を中心にまとめました。



▼市内23か所のいこまる相談窓口



包括的相談支援事業 ◆ いこまる相談窓口

高齢・障がい・こども・生活困窮といった既存の分野別の相談支援機関でどんな相談も丸ごと受け止める「いこまる相談窓口」の取組を令和5年度からスタート。

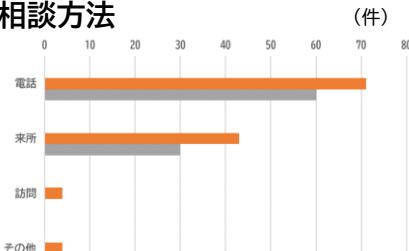
既存の地域包括支援センター(高齢分野)、生活支援センター(障がい分野)、こども家庭センター(こども分野)、くらしとしごと支援センター(生活困窮分野)などの相談窓口と、本市の重層事業主担当課及び社会福祉協議会を「いこまる相談窓口」と位置づけ、分野外の相談を一旦受け止め、適切な機関につなぐことのできる支援体制の構築を目的とした取組です。

令和6年度で122件の分野外の相談がありました。必要に応じて適切な機関につなぎ、多機関協働事業(3ページ参照)に移行した例もあります。

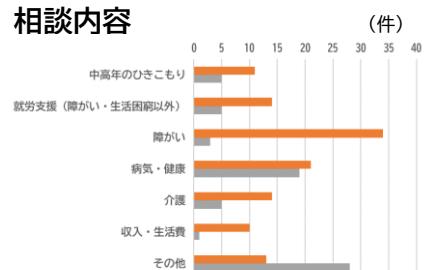
いこまる相談窓口 相談受付状況

各窓口で受けた、分野外の相談状況

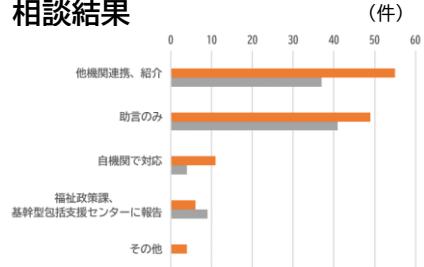
相談方法



相談内容



相談結果



令和6年度
令和5年度

▼ いこまる相談窓口一覧 (R7. 9時点)

いこまる相談窓口一覧と地図



相談の際は事前予約をしていただくとスムーズです。



◆ いこまる相談会

▼メタバース空間



いこまる相談窓口でも相談を丸ごと受け止める取組を行っていますが、相談のきっかけづくりとして、月に1回、第3火曜日に「いこまる相談会」を実施しています。「どこに相談したらよいか分からぬ悩み」「生き辛さなど言葉にできない気持ち」などの相談に対し、いこまる主任推進員(3ページ参照)が相談を聞き、必要な機関につなぎます。

令和6年度は、4月から10月までは対面とオンラインを隔月で、11月から3月まではメタバース空間上で実施し、対面での相談1件、メタバースでは5名の訪問(うち相談は1件)がありました。ひとりで抱え込むのではなく、専門の機関に相談するきっかけとして、気軽にご利用いただくために開催しています。

参加支援事業

参加支援事業とは、高齢・障がい・こども・生活困窮等の既存制度では対応できない狭間のニーズに対応するため、本人の希望や必要性に応じてインフォーマルな社会資源(地域の方や近隣住民、友人、民間事業者など、公的な機関や組織ではない身近な支え合い)につなぐことや、多様な資源の開拓を行うことで、本人・家族が社会とのつながりを回復できるように支援することです。令和6年度は参加支援事業として、おでかけいこま運用、福祉事業所交流会、地域との連携を行いました。また、アウトリーチと合わせて参加支援を行う専門職を配置しています。

◆ 福祉事業所交流会

重層事業着手前に実施した事業所調査で把握した、「分野を超えた支援者との関わりを広げたい」「福祉事業所を地域に開かれたところにしたい」といったニーズを受けて、令和5年度から福祉イベント実施補助金説明会を兼ねて事業所交流会を開催しています。令和6年度、補助金交付件数は0件でしたが、事業所交流会には14事業所22名が参加しました。

◆ おでかけいこま



子育て広場から高齢者の介護予防教室等、「集いの場」を簡単に検索できるように、市内で定期的に実施されている活動・サービスの所在地や内容を地図上にまとめた WEB サイト「おでかけいこま」を運用しています。

◆ つなぐシート



複合的な問題があり、どこにどのように相談したらよいか分からず、それぞれの課で同じ説明をしないといけない状態にならないようにするために、庁内や出先機関等で、令和5年度から「つなぐシート」の運用を開始しました。

最初に相談を受けた機関が相談内容や課題を整理し、必要度が高い順に次の相談窓口につないでいきます。すぐに相談窓口につなぐ場合は、原則同行案内をすることとしており、安心して相談できる環境づくりに努めています。

つなぐシートの運用は、令和6年度は18件あり、つなぐだけで解決しない問題に関しては重層的支援会議(3ページ参照)で取り上げることもあります。



▲福祉イベント実施補助金説明会
兼事業所交流会の様子

◆ 地域との連携

地域の困りごとを地域で解決し、必要であれば専門職につなぐネットワークづくりを目的とした取組を実施。

令和6年度は、壹分小学校区市民自治協議会「やまびこネットワーク」にて福祉の視点を取り入れたまちづくりについて説明しました。また、あすか台自治会で住民アンケート調査を実施しました。

地域づくり事業

地域づくり事業とは、下記の既存事業の取組を活かし、世代や属性を越えて交流できる場を構築し、地域資源の開発やネットワークの構築を行うものです。

分野	事業名	実施方法
高齢	地域介護予防活動支援事業	地域包括支援センター(7か所)への委託にて実施
高齢	生活支援体制整備事業	
障がい	地域活動支援センター事業	委託にて実施(2か所)
こども	地域子育て支援拠点事業	直営及び委託にて実施(みつきランド他10か所)
生活困窮	生活困窮者支援等のための地域づくり事業	複合型コミュニティ「まちのえき」等

(R7年12月時点)

アウトリーチ等を通じた継続的支援事業

アウトリーチ等を通じた継続的支援事業は、支援が届いていない人に支援を届けることや、支援機関のつながりの中から潜在的な相談者を把握すること、本人との信頼関係の構築に向けた支援に力点を置くことを目的としています。

地域共生社会推進課に、アウトリーチを担当する保健福祉等の専門職を1名配置しています。また、いこまる相談窓口へのヒアリングを通じて、アウトリーチを必要とされているご家族がおられる案件を把握し、「だれひとり取り残さない」取組を行っています。



- ①啓発用チラシ
②周知用缶バッジ

多機関協働事業

多機関協働事業とは、既存の相談支援機関のサポートを行い、単独の支援機関では対応が難しい複雑化・複合化した事例の調整役を担います。具体的な事例については、重層的支援会議での協議等を通じて関係機関の役割分担や支援の方向性を定める機能を果たします。

◆ 重層的支援会議



▲重層的支援会議の様子

主担当課(障がい福祉課、生活支援課、地域包括ケア推進課、健康課、幼保こども園課、こども家庭センター、生涯学習課)と生駒市社会福祉協議会の担当者が出席し、月に1回重層的支援会議を行いました。

第1部は重層的支援体制の運営に関する事や、若年認知症、ひきこもり支援など、複数の部署が関係するテーマを取り上げました。第2部は必要に応じてケース検討を行いました。

▼重層的支援会議の様子



◆ いこまる主任推進員

地域共生社会推進課にいこまる主任推進員を2名配置し、対象者を「どこにつないだらよいか分からない」、「多機関で協議したい」などの相談に答え、令和5年度は7件、令和6年度は6件の支援者支援を行いました。多機関で検討が必要な場合には各機関にヒアリングを行い、重層的支援会議でケース検討を行うための調整を行います。

庁内連携の促進

◆ 地域共生社会推進会議



近年、福祉の領域を越えて地域社会の課題解決に取り組む必要性が増しています。庁内一丸となって地域共生社会を実現するため、令和5年度から市長を座長とし、理事者、全部次長級、関係課長らが出席する「地域共生社会推進会議」を実施しています。

令和6年度は、10月に本市で開催した「地域共生社会推進全国サミットinいこま」に向けて、分野を超えて協働できることをテーマに、グループワークを実施。実際のサミット運営に生かせるアイデアが、多数上がりました。また、かさねるいこまの進捗報告も行いました。



◆ 地域共生社会推進
全国サミットinいこま
についてはこちら

◆ いこまる推進員

庁内連携を進めるため、関係各課に36名のいこまる推進員を配置し、各課の連携の窓口となり、必要に応じて重層的支援会議に出席します。

また、いこまる推進員会議を行い、かさねるいこまの事業の目的やつなぐシートの運用などの説明、庁内が連携して課題に取り組む重要性を共有しました。



▲いこまる推進員会議の様子

かさねるいこまに関連する取組

◆ ひきこもり支援ステーション



「中高年のひきこもり」など支援の「はざま」となりがちな方だけでなく、属性や年齢の壁を越えて、社会とのつながりづくりの第一歩になるような「居場所」として、令和6年7月に「いばしょ支援ステーションGIFT」を開設し、令和6年度は延べ198人の利用がありました。また、相談支援、居場所づくり支援、地域のネットワークづくり、当事者会・家族会、住民向け講習会・サポーター養成、就労支援、保健福祉の専門職配置などを一体的に実施し、包括的な支援を行います。

2回にわたって実施したよりそいサポーター養成研修には、第1回は33人、第2回は55人が参加。令和6年度末で18人のサポーター登録がありました。



▼GIFT内の様子
▲ボードゲーム
もあります



よりそいサポーターLOGO

困ったときは
こちら

いこまる相談窓口



どのような困りごとも
丸ごと受け止める相談窓口

いこまる相談会 inメタバース



匿名・顔出しなしで参加できる
月1回の何でも相談会

孤独・孤立支援 ポータルサイト



相談窓口や支援を集約
困りごとに応じて検索

あなたのいばしょ 無料・匿名で24時間365日利用可能なチャット相談

「望まない孤独」の根絶を目指し、日本で唯一となる24時間365日年齢や性別を問わずだれでも無料・匿名で相談できるチャット相談窓口。世界32カ国に約1000名の相談員を抱え、1日最大で約3000件の相談に応じる国内最大規模のチャット相談窓口で、本市は令和5年度に、チャットを運用する「NPO法人 あなたのいばしょ」と関西初の事業連携協定を締結しました。

あなたのいばしょ
ibaishi Chat.org



▲相談はこちらから